

# 牧師所感： 日本の高名な反原発弁護士 — 河合弘之氏の‘能’の演技 —

日本の高名な河合弘之弁護士は、浜岡原発差止訴訟弁護団長として、浜岡原発を停止に追い込んだ辣腕弁護士先生である。

ところでキリスト教の牧師としての、筆者が河合先生とお付き合いになったきっかけは、六本木男声合唱団のメンバーであったからである。

或る時先生は筆者に、申さん私達が歌っているレクイエム（鎮魂曲）の中に贖いといふことばが出ているが、何の意味ですか？と聞かれた。筆者は喜んでその意味を解説してあげた。それはキリストが人々の罪の身代わりになって、死なれたと解説した。その時より先生とは懇意になった。

さて先生は弁護士として法律家だけでなく、日本固有の藝術‘能’に対して、大いなる敬意を持って演奏に取り組んでおられる藝術家でもある。

今年も新年早々年賀状にて、能楽堂での出演のお知らせを戴いた。何年か前にも観劇した経験がある。ところで今年はもっと長時間（2時間）の『安宅』の弁慶（シテ）を演じるというお知らせを受けた。

さて筆者は予告の日（24年4月6日「土」）に、単身能楽堂に足を運び、予告されている演舞を、二時間きっちり観劇した。その『勧進帳』の弁慶（シテ）を演じ切った方は、言うまでもなく河合先生であられた。弁護士である先生が、日本の固有の藝術‘能樂’に心酔されるとは大いに恐れ入った次第である。

さて、ここに先生が演じられた能楽の開催日と、演目の内容を掲載して、ご理解に任ずる。

## 【お知らせ】

本年（2024年）4月6日（土）午前11時頃より国立能楽堂にて私が「安宅」（歌舞伎でいう「観進帳」）の弁慶（シテ）を演じます。共演（狂言）は、なんとあの野村萬斎親子です。萬斎氏の演技をナマで、無料で観る機会はまずありません。富樫（ワキ）役は人間国宝の宝生欣哉氏です。なお、字幕が出ますので台詞の理解も簡単で楽しめます。

鑑賞希望の方はまず日程確保のうえ、手紙・FAX又はお電話にて私の事務所の秘書宛にご連絡ください。

案内状と申込書を送付いたします。

なお当日の観劇の聴衆は、あの広い能楽堂の広い座席に、満堂で満たした。然るに日本の国民が日本古来の伝統藝術をいかに愛しているかを垣間見る瞬間であった。

終わりに日本の国民に幸せあれと祈る！！